

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

〇ICTを活用した「主体的・対話的な深い学び」を実現させるための授業の実践

吉井小学校  
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 阿部ひとみ	委員 校長 小西貴仁 教務 日下真子 研修 羽里理絵
------------------	-------------------------------------

校長  
小西 貴仁

【各校の取組状況の把握について】

教員自己評価・学校評価(児童・保護者)・全国学力調査・県ステップアップテスト結果検証・授業研究会等

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○各学年の発達段階に応じてICT機器を活用し、日常的に慣れ親しむ姿が見られるようになってきた。</p> <p>●文章の要点を素早く正確に読み取ったり、身につけた知識を既習事項と関連付けて生かし、課題を解決したりする力が、まだ十分身につけていない。</p> <p>●読書に積極的に取り組む態度が、まだ十分に育っていない。</p> <p>●個別差が顕著に見受けられる。</p>	<p>・基礎的・基本的な知識技能を確実に身につけることができる。</p> <p>・パソコンやタブレットを積極的に活用し、学んだ知識を他の学習場面や日常生活に生かすことができる。</p> <p>・文章の概要を捉えて短時間で読み取ったり、必要な事柄を落とさずに、正確に理解したりすることができる。</p>	<p>・定期的に研修会を開いて教師自身のICT活用のスキルアップを図るとともに、児童の発達段階に応じて効果的にタブレットを活用する授業づくりについての研究を進める。</p> <p>・具体的操作を通したり、身近な生活に結びつけたりして理解を深めるよう指導の仕方を工夫するとともに、個に応じた指導をする。</p> <p>・『家庭読書の日』の親子読書や学年に応じたお勧めの本の推奨、読書量の見える化等、読書の幅を広げ、質を高める工夫を図り、読書活動を推進し意欲を高める。</p> <p>・「吉井小10の学習のルール」を更に徹底し、聴く力や書く力の基礎を培う。</p>	<p>令和6年度全国学力・学習状況調査および徳島県学力ステップアップテストにおいて、本校児童は県平均点・全国平均点をほぼ全ての項目で上回り、たいへん良好な結果であった。</p> <p>ここ数年来の学力向上の取組が、実を結んできたと言えるだろう。更なる向上を願い、これまでのICT活用や読書推進等の方策を今後も真摯に進めていきたいと考える。</p>	<p>・子ども達は、発達段階に応じて、日常的に学習にタブレットを活用することに慣れ親しんでいる。また、タブレットのドリル学習が、個別差に対応する一助にもなっている。</p> <p>・親子読書や「ぼんぼんボールチャレンジ」等の取組を実施してきたことが、読書意欲を高め、読書量を増やすことにつながっている。</p> <p>・「吉井小10の学習のルール」を徹底することで、どの学年も落ち着いた態度で学習に取り組むことができています。</p>	<p>少人数だからこその手厚い指導・支援体制を維持し、学習の基礎的・基本的な知識技能を確実に身につけさせることのできる本校の良さを引き続き大切にしたい。</p> <p>また、社会の流れに応じたICTを活用した学習を今後も積極的に取り入れ、学習活動の活性化を図りたい。そのために更に研修を積みたい。</p> <p>学習で得た知識・技能を生活の場面に生かす態度・習慣を養い、生きた知識・技能となるよう、更に働きかけていきたい。</p>

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○総合的な学習の時間や委員会活動などでは、自分たちの考えに基づいて活動したり、学習を進めたりすることができるようになりつつある。</p> <p>●多くの情報の中から必要な情報を取捨選択したり、自分の言葉で考えをまとめることに課題が見られる。</p> <p>●少人数化が進み、話し合い活動に課題が見られる。</p>	<p>・多様な人々と協働しながら学習を進め、他者の話を自分の考えと比べながら要点を聴き取り、自分の考えを広げ深めることができる。</p> <p>・学習をより確かなものにするために、体験したことや考えたことを分かりやすくまとめ、文章に表したり話したりして他者に伝えることができる。</p>	<p>・若杉山辰砂採掘遺跡等、地域の教育資源を生かし、系統的・継続的に単元を構成し、体験的で探究的な教育活動を計画・工夫する。</p> <p>・多様な生活経験を通して語彙を増やし、体験したことや考えを正確に文章で表現する機会を増やす。</p> <p>・ステップアップタイムや給食放送の時間に、簡単な聞き取り問題等を実施し、聴く力を育てる。</p> <p>・学年を超えた場の設定等、多様な話し合い活動の工夫を図る。</p>	<p>総合的な学習の時間や委員会活動などでは、少人数化に伴い活動内容を再検討しつつ、活動や学習を進める必要があると思われる。</p> <p>地域教材等を活かした体験学習について、更に系統的・継続的に単元を構成する必要がある。</p>	<p>・若杉山辰砂採掘遺跡、カタツムリ等、豊富な地域の教育資源を生かし、総合的な学習の時間等において、体験的で探究的な学習活動を積極的に実施することができた。</p> <p>・系統的・継続的に学習が実施できるよう、学習内容の見直しを図った。</p> <p>・縦割り班の活動を意欲的に実施した。</p>	<p>本校は令和8年度より、小規模特認校となり、地域の特色を活かせるような教育課程の見直しを図る。内容をしっかりと精査し、地域に根ざした効果的な学習活動が実施できるよう、令和7年度から取り組んでいく必要がある。また、総合的な学習の時間等で行った探究的学習の成果を発表できる場を設ける等、意欲づけを図りたい。</p>

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○自主的に学習を進めている児童は、「学習することは自分の可能性を広げてくれる」と考え、将来の進路と学びとの関わりを理解している。</p> <p>●主体的に学ぼうとする姿勢が育ちつつあるが、自主的に行動し、積極的に学習を進めようとする児童は少なく、充分であるとは言いがたい。</p>	<p>・自分の知識を広げるため、応用的・探究的な課題に継続して取り組むことができる。</p> <p>・自らの課題を見つけ、それを克服するために自分に合った学習の方法や計画を考え、工夫して取り組むことができる。</p>	<p>・主体的な学習が展開されるように授業を工夫し、単元のめあてを明示したり、導入や展開の仕方を工夫したりする。</p> <p>・「自主学習の手引き」を基に学年に応じたノート指導を行うとともに、モデルとなるノートの例を示すようにする。</p> <p>・ポジティブな行動支援を心がけ、成功体験を増やし、自信を持って意欲的に取り組めるように意欲づける。</p>	<p>ノート指導をこまめに行い、子ども達の学習状況の把握に努めるとともに、望ましい学習のまとめができるようなノート指導を実施したい。</p> <p>大勢の人の前で、発表したり意見を言ったりする機会を積極的に増やし、自信を持って活動に取り組めるよう支援していきたい。</p>	<p>・各学年の発達段階に応じて授業の展開を工夫し、グループ活動やペアワーク等対話を活性化することで、主体的に協働して学ぶ態度が育ち、考えを広げ深める力が育ってきている。</p> <p>・概ね望ましいノートのまとめ方ができるようになってきつつあるが、まだまだ課題のある児童もいる。</p>	<p>「書く」活動を大切にし、学習内容の定着や思考の深まりにつながるようなノートの取り方の改善を図りたい。進む少人数化に対応し、学級のみでなく縦割りや全校での活動を積極的に取り入れ、大勢の前で発表する等の機会を増やしたい。みんなに認められることで、自信を持ち意欲的に活動できるよう、ポジティブな行動支援を広げたい。</p>

令和6年度 学力向上ロードマップ

